

1人が両方に出場します。大会には全国から選手・監督合わせ総勢370人が訪れる予定です。宿泊施設に受け入れをお願いします。チーム数は成年男子（フリー）が47、少年男子が16、少年女子、成年女子がそれぞれ15チームに選抜されています。当日は、一日600人程度の役員・スタッフが必要のため、ボランティアとしてお手伝いいただける方を募集しています。戸嶋 アーチェリーも競技人口が少ないこともあり、成年では残念ながら地元選手はいません。少年男女は、クラブ活動が行われている大館鳳鳴高校や、秋田南、横手城南高校など、中央・県南勢が中心です。鳳鳴には有望な選手がいます。選手・監督合わせ、全国から332人が参加の予定です。

「民泊」による受入態勢は90%完了（フェンシング）

成田 フェンシングには、「フルーレ」「エペ」「サーブル」という3種目がありますが、秋田国体では成年男子は3種目の団体戦、成年女子・少年男女はいずれもフルーレのみの団体戦のみが行われます。北秋田市では、合川高校がフェ



ンシング強化の拠点校になっており、男女合わせて3名が強化指定を受けています。ただ、出場選手の決定はこれからで、指定選手以外でも選ばれる可能性はあります。

成年男子はほとんどが同高の卒業生です。平成17年の岡山国体では合川高校の選手を主力に男女総合優勝を果たしています。わか杉国体でも本市出身の選手が一人でも多く出場し、天皇杯の得点に貢献してほしいと願っています。

市長 各種目ともスタッフの確保に苦労されているようです。市でも、広報やホームページを通じて、ボランティア協力の呼びかけなどを行いたいと思っています。次に、本市を訪れる選手らの宿泊やおも



織山盛二さん(57)

北秋田市観光協会会長。平成15年、旧鷹巣町観光協会会長就任後、中央公園さくら祭り、米代川花火大会など、数々のイベントを成功させてきました。今年6月には、旧3町の観光協会を統合した現協会の会長に就任。秋田国体や全国植樹祭を控え、森吉山の自然をはじめとする本市の魅力を全国にPRしようと奔走されています。

てなしなどの受け入れ態勢などについてお願いします。細田 バレーボールの場合はチーム数が少ないので鷹巣地区のホテル・旅館で対応できます。会場でのPRのためには、特産品の提供や、応援団の組織化を図りながら万全を期す予定です。そのためにも、老人クラブ、婦人会、自治会など各団体や、小中学校の協力が不可欠です。後日、あらためてお願いしたいと思います。赤石 市のPRのためにも、食材などもぜひ地元で取れたものを使ってほしいですね。縦走、クライミング両会場でもきりたんぼなどを提供したいと思っています。会場と宿泊地の距離が離れていることもあるので、選手らの輸送態勢についても今から計画を練っています。

泊は家庭、という共同民泊が主体です。

民泊の良さは受け入れ家庭との交流です。泊めたチームの選手を応援したいと思うのは人情。しかし、試合のときは準備で会場に行けない、そんな悩みも調整しながら解決していけないか、と考えています。

成田 先ほどお話ししたように、フェンシングでの選手受け入れはすべて民泊です。今は家族の数も少なく、全部面倒するのはたいへんですが、全国からの選手と触れ合う機会ができることで、家庭にも地域にとってもたいへん良いことではないかと思っています。受け入れ家庭も泊めた選手やチームを応援したくなるようです。

ただ、入浴などの心配があるようですが、その点についても、合川地区には温泉もあるため、受け入れ集落によっては、温泉への輸送班が決まっているところもあります。このような住民の方々の工夫や努力も、スムーズな運営のキーポイントです。

市長 民泊家庭での風呂や洗濯は皆さん心配されているようですが、市としても国体推進室や関係機関とも相談しながら、できるだけ支障のないように対応してまいります。と思います。



観光・物産面でのPRについては、どのようなにお考えでしょうか。はじめに観光協会の織山さんをお願いします。

鷹ノ巣駅前、阿仁前田に観光案内所を設置（市観光協会）

織山 現在考えているのは、まず市の北の玄関口として大太鼓の館周辺にPR看板を設置することです。また、鷹ノ巣駅周辺と阿仁前田には仮設の観光案内所も設置します。さらに、会場内の受付などで宿泊観光案内ができるような場所を設けられないか検討中です。

また4月頃には、ホームページで宿泊の空き状況を確認できるような事業も始める予定です。ただ、全部を実行するとすると相当の経費、



岸部市長

マンパワーも必要。しかし、ここで将来につながる観光の土台を作りたい。観光協会だけではできないので市の協力を得られないか、ぜひご検討願いたいと思っています。

お土産品については、市の推奨認定を受けた特産品だけでも60種類以上もあります。これらを会場等で販売することができないか、関係者を交え協議したいと思っています。

市長 他の大会会場などでは、どのように対応されていたでしょうか。戸嶋 最近では、選手らは大会に参加しても、試合が終わるとすぐ帰るといったように、行動パターン、スタイルが変化しているようです。また、あまりお金をかけないようになっているのか、会場、宿泊所以外は出歩かない。そのため、特産品なども会場で売ることが望ましいと思います。また、品切れで選手らの要望に答えられないということがないように、十分な在庫を確保してほしいと思います。

成田 お土産も、その土地ならではの「印」があればすぐ手が出ます。お酒なども国体のラベルを貼るなどすればより効果的かとも思います。

伝統芸能・イベントなどで訪れる人たちの交流を

細田 私が選手として参加した徳島国体の阿波踊りは印象的でした。地元の方々との阿波踊りでの交流は忘れられない思い出です。楽しんで参加し、交流することは国体という大会の良さの一つですね。

成田 私も高知国体では「よさこい」と一緒に踊ってきました。北秋田市では各競技会場が分散していますが、難しいかもしれませんがどこか中心になるところでやれたらいいですね。



▲例年、9月に開催されている太鼓まつり

観光協会では、太鼓まつりなど市の伝統芸能、創作芸能で各競技の選手らを歓迎できないかを模索中

織山 観光協会の年間イベントは定期的に終わっている時期ですが、「太鼓祭り」が例年この時期に開催しています。新年早々の実行委員会でも提案してみたいと思います。成田 大太鼓の館など、各観光施設の入場券の割引などはできますか。訪れた人たちが市の施設を回って見られるようなといいのですが。市長 市のPRのためにも、観光施設での割引やイベントへの参加など、何らかの形で選手・監督の皆さんに市を楽しんでいただく方法を検討したいと考えています。「まごころ」と「笑顔」で訪れた方々を迎えることが受け入れの基本。十分に力を発揮していただけるように競技会場を整備することはもちろんですが、北秋田市を楽しみ、思い出をつくり、そして市のお土産を持って帰っていただくことが「大会の成功」につながると思います。残り8カ月。市としても大会の成功に向けさらに具体的な取り組みを進めてまいりますので、皆様の一層のご協力をお願いいたします。本日はどうもありがとうございます。

（次号では各競技の見所などを紹介します）